

# 長浜探検・大発見

～郷土・人とふれあい、共に学びあう ふれあい体験学習の展開～

## 航海の特色

本航海では、寄港地での活動と船内の活動を一連の学習活動として設定する。班の仲間との活動を中心に仕組むことで、仲間とやり遂げていくという達成感が強くなるとともに、活動意欲の持続にもつながる。また、児童相互のふれあいを深めることにもつながる。

長浜タウンウォークの際に地元のボランティアガイドに同行してもらうことで、ガイドの方とのふれあいから学び、長浜の歴史や文化にさらに深くふれることにつながる。

## (1) 航路

<1日目>

大津港-----多景島-----長浜港  
10:00発 (13:00) 14:00着

<2日目>

長浜港-----竹生島-----白石-----沖島-----大津港  
9:00発 (11:15) (12:30) (13:20) 15:30着

## (2) 展開事例

### 学校での事前学習

- ◎長浜タウンマップをもとに、タウンウォークで見学してみたい場所を探し、調査する。
- ◎長浜の街の様子、史跡などを調べ、興味を持った見学地を出し合う。
- ◎ボランティアガイドの方へ電話や手紙等であいさつをする。

### フローティングスクールでの学習

#### ふれあい体験学習Ⅰ <1日目9:30～・11:20～>

- ◎班の仲間へ自己紹介をしよう。(活動室)
- ◎長浜タウンウォークの計画を立てよう。(活動室)
  - ・学校での事前学習をもとに、班ごとに見学したい見学地を相談し、見学コースを計画する。

#### ふれあい体験学習Ⅱ <1日目14:00～16:00>

- ◎ボランティアガイドの方との対面式(学習室)
- ◎長浜タウンウォーク(長浜市街)
  - ・班に一人のボランティアガイドの方が同行し、班の見学コースにしたがいタウンウォークをする。
  - ・児童一人ひとりがタウンウォーク中に、自分だけの長浜大発見を見つける。

#### ふれあい体験学習Ⅲ <1日目16:20～・夕食と並行>

- ◎長浜大発見クイズを作成しよう。(活動室)
  - ・一人ひとりの大発見を発表し、わがったことを交流する。
  - ・班で、とっておきの大発見を作成し、「湖の子」の夕へに向けて発表の練習をする。

#### ふれあい体験学習Ⅳ <1日目「湖の子」の夕へ>

- ◎長浜大発見クイズ大会を開こう。(学習室)
  - ・各班がつくった長浜大発見クイズを発表し、交流し合う。

### 学校での事後学習

- ◎長浜と自分の住んでいる地域との違いをまとめる。
- ◎ボランティアガイドの方へ電話や手紙等でお礼をする。



### (3) 活動の様子

#### ◎ふれあい体験学習Ⅰ



見学地、見学コースの相談

#### ◎ふれあい体験学習Ⅲ



大発見クイズの作成

#### ◎ふれあい体験学習Ⅱ



ボランティアガイドの方との対面式



長浜タウンウォーク

#### ◎ふれあい体験学習Ⅳ



長浜大発見クイズ大会

#### 【児童の声】

- ・長浜タウンウォークでは、楽しく班活動ができました。
- ・ガイドさんがいてくれたので、大通寺や豊国神社の説明をしてくれてとてもよくわかりました。
- ・ガイドの方から説明を聞いて、江戸時代に生まれていたら、長浜城には入れなかったと思いました。
- ・ガイドさんはすごく詳しく教えてくれたので、大変わかりやすかったです。歴史に興味があるのですごかったです。ガイドさんはよく長浜のことを知っていて驚きました。
- ・長浜市にはいろいろな歴史があることがわかりました。これからも長浜城などの歴史を調べたいと思います。
- ・班のみんなで協力して活動できたのでよかったです。
- ・みんなで考えて、協力しなければならないことがわかりました。

#### 【指導者の声】

- ・長浜タウンウォークでは、長浜大発見クイズを作成するという目標を持って取り組んだので、ボランティアガイドの方の話をしっかりと聞けた児童が多かった。
- ・班で一つの大発見クイズを作成したり、答えを考えたりする中で、児童の交流の深まりが見られた。
- ・ボランティアガイドの方とのふれあいは学びの機会として子どもたちの貴重な経験となった。
- ・児童がボランティアガイドの方に、長浜の歴史について多くのことを教えてもらえたことは、これまでのタウンウォークよりも学びが深いように感じた。
- ・児童がボランティアガイドの方に頼り切らず、主体的に活動できるような手立ての工夫が必要であると感じた。

#### 【指導上の留意点】

- ・びわ湖フローティングスクールへの期待感や学習意欲を高めるために、長浜の街の様子、史跡などの事前学習を十分しておく必要がある。
- ・児童の興味・関心や学習の主体性を重視し、タウンウォークの見学地やコースは乗船後、班の児童が相談して決めるようにする。ただし、活動の安全を確保するためにも、児童が見学したい場所を事前に把握した上で、通る道や見学地に制限を加えておいたり、安全指導體制を確認しておいたりするなど、乗船校間で調整しておく。
- ・ボランティアガイドの方とふれあう中で児童の学びがより高められるよう、タウンウォークのねらいや児童へのががわり方、事前・事後学習の取り組みなどについて打合せを十分にしておく。